2022/8/1
東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週のマーケット動向（7 月 25 日～7 月 29 日）

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,313.5	1,314.9	1,295.5	1,299.1	▲13.9
JPY/KRW	9.6199	9.8036	9.5548	9.7883	+0.263
KOSPI	2,385.65	2,463.05	2,385.65	2,451.50	+58.36

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は週後半に下落した。25日は1,313.5ウォンにてオープンすると、特段目新しい材料なくドル/ウォンは方向感に乏しい展開となった。韓国2QGDP速報値（実績：前年同期比2.9%、予想：同2.6%）はまずまずの結果となるも、FOMCを前に様子見ムードが強く動意が出ない展開が継続した。FOMCでは予想通り75bp（上限1.75%→2.50%）の利上げが実施。声明文ではインフレが依然高いことから利上げ継続を示唆する内容となった。しかしパウエルFRB議長が会見にて年末のFFレートを3.0%-3.5%と予想したことから、市場の織り込み対比ハト派的と解釈され、米金利は全年限で急落し為替はドル売り地合いに。28日海外時間には米2Q GDP速報値が予想外のマイナスに進むと29日にドル/ウォンは1,295.5まで下落した。結局、先週末対比13.9ウォン下落した1,299.1ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは上値の重い展開を予想。今後の利上げ速度はインフレ指標次第とし、9月75bp利上げ織り込みをけん制したパウエルFRB議長の発言をきっかけに、市場はリセッション懸念と利上げ速度緩和を期待した相場となりつつある。7月米CPI(8/10発表予定)までは、この相場を変えうる材料は乏しく、暫くドル売り地合いとなりそうだ。さらに市場のアクティビティが下がるこの時期は当局による介入等の影響も出やすく、ドル/ウォンは大きく下落する展開に警戒したい。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1280 ～ 1310	9.55 ～ 9.85	132.5 ～ 134.5

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)

* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)

今後の予定

1日(月) 欧 7月 製造業PMI 確報値
米 7月 製造業PMI 確報値
米 7月 ISM製造業景況指数
2日(火) 韓 7月 CPI
3日(水) 欧 7月 サービス業PMI 確報値
米 7月 サービス業PMI 確報値
米 6月 耐久財受注 確報値
米 6月 製造業受注
中 7月 総合PMI
中 7月 サービス業PMI
米 7月 ISM非製造業景況指数
5日(金) 米 7月 非農業部門雇用者数
米 7月 失業率
韓 6月 国際収支

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。